



防災カフェ



— 万が一、ミサイルが飛んできたときには —

今年に入り近隣国からミサイルが発射されたというニュースが、たびたび報じられています。今回は、万が一私たちの周辺にミサイルが落下するとなった時に、どのような行動が大切になるかを取り上げますので参考にしてください。

ミサイルによる人体への被害は、着弾時の爆風や破片などが主なものであり、発射を確認してから着弾まで短時間となる可能性もあることから、速やかに適切な避難行動をとる必要があります。

屋外にいる場合
【爆風や破片などを避ける】

近くの建物の中 (できれば頑丈な建物)
または **地下へ**

もしも、近くに建物がない場合は

物陰に身を隠す
または
地面に伏せ
頭部を守る

屋内にいる場合
【爆風で割れた窓ガラスなどを避ける】

窓から離れる
または **窓がない部屋へ**

屋内にいる場合は、窓のない廊下や机の下などに避難して、クッションなどで頭を防護し、身を守る姿勢を取りましょう。

屋外にいる場合は、近くの建物(できれば頑丈な建物)の中か、地下に避難してください

い。建物がない場合は、物陰に身を隠したり、地面に伏せて頭部や身を守りましょう。車を運転している際は、ガソリンに引火する危険があるため、安全な場所に停車して車から離れ、その場に伏せて頭部を守りましょう。

ミサイル発射などの武力攻撃が発生したり、発生のおそれがある場合には、Jアラート(全国瞬時警報システム)により、緊急速報メールや登録制メール、テレビ、ラジオ、サイレン(30秒吹鳴、6秒休止で5回吹鳴)等の方法で情報が伝達されます。

なお、ミサイルから身を守る行動は、その時に自分がいる場所(状況)によって変わりますので、情報を受け取った場合は、速やかに適切な行動を取れるようにしておきましょう。

○出典：内閣官房 国民保護ポータルサイト
「弾道ミサイル落下時の行動について」

<https://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/index.html>



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

融雪期の事故防止 ～日々の雪かき 安全第一～

■適切な時期の氷雪下ろし

屋根からの氷雪落下による事故が発生しています。

氷雪が屋根からせり出している軒下などは、危険ですので近づかないようにしましょう。道路に面してる建物を管理しているかたは、適切な時期の氷雪下ろしと、氷雪が落下する危険がある場所については、看板やロープ等により、歩行者に注意を促しましょう。

■複数による安全を確保した氷雪下ろし

屋根の氷雪下ろし中に、はじごや屋根から転落する事故も発生しています。作業するときは、補助者を置くなど複数で行うとともに、命綱や安全帯を装着するなど万全の措置を講じ、自身の安全を確保しましょう。



●詳細 芦別警察署 ☎22-0110